

経営比較分析表（令和6年度決算）

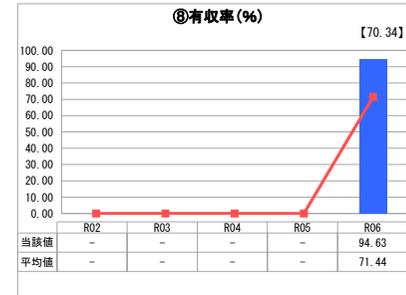
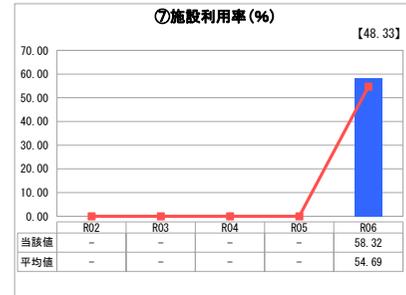
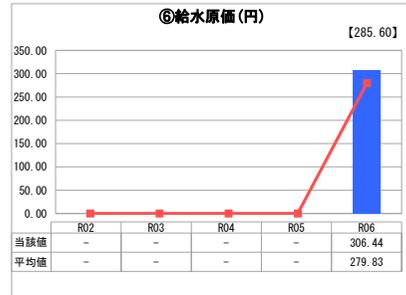
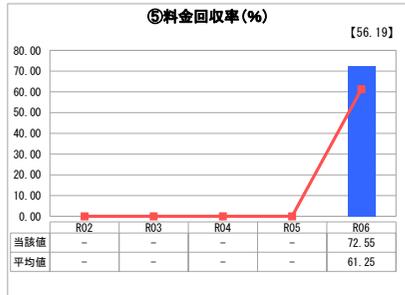
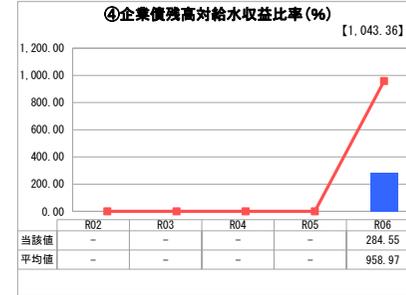
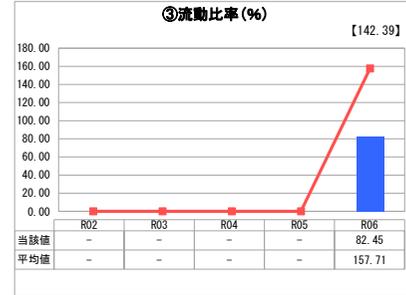
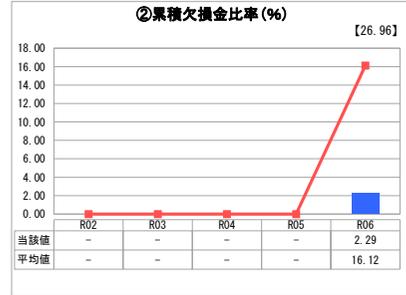
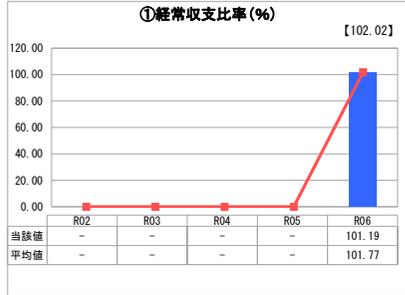
岡山県 久米南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	77.51	97.12	4,565	

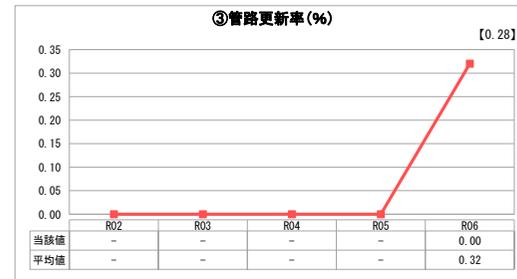
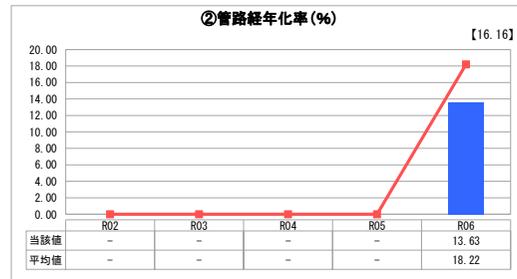
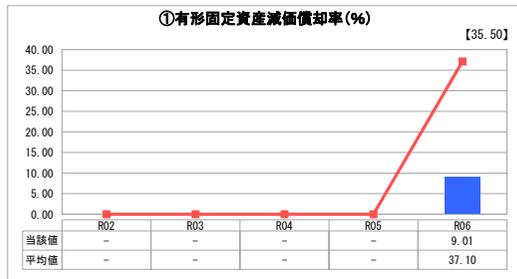
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,290	78.65	54.55
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,108	78.15	52.57

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、100%を上回っていますが、一般会計からの基準外繰入金を利用していないため、収支は均衡していますが、物価高騰など事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が予想されます。引き続き経費削減など経営改善を図ります。
- ② 累積欠損金比率は、2.29%となっています。経常収支は黒字ですが、公営企業会計移行初年度のため、特例的収支の影響から0%を上回っています。
- ③ 流動比率は、公営企業会計移行前までは、基準内繰入金を必要な分のみ繰入するなど必要最低限の現金にて運用していたことから100%を下回っています。これによる資金不足の心配はありません。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、引き続き設備更新等を適切に行い、適正な企業債の運用を図ります。
- ⑤ 料金回収率は、100%を下回っていますが、①で述べたとおり、基準外繰入金を利用していないことから引き続き適切な料金収入の確保に努めます。
- ⑥ 給水原価について、①で述べたように引き続き経費削減を図ります。
- ⑦ 施設利用率は、同規模団体と比較するとほぼ変わりありません。経営規模に適した施設運用を行います。
- ⑧ 有収率について、90%以上を維持できるように施設管理を行います。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、同規模団体と比較すると低い値となっていますが、必要な設備更新を今後も行います。管路更新については、近年管路更新を行っていないため、管路の老朽化が考えられますが、設備更新と同様に事業費の平準化を図りながら、適正な施設更新を行います。

全体総括

経常収支は黒字となっていますが、収支は均衡しており、物価高騰や少子高齢化など事業を取り巻く経営環境は厳しい状況です。事業費の平準化を図りながら、設備の更新や経費削減など安定した経営が行えるように事業を運営していきます。